

- 問1 カンボジアの国旗の中央に白色で描かれている世界遺産の建造物と、この国で主に信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. ボロブドゥールー ヒンドゥー教 2. ボロブドゥールー 仏教 3. アンコール・ワットー イスラム教 4. アンコール・ワットー 仏教
- 問2 タイの工業化が進展した背景について、輸出統計において自動車が大きな割合を占め、その生産の約8割を日本企業が担っているという状況から推察される、経済的な仕組みとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 海外からの輸入を制限し、国内市場向けの製品のみを製造する輸入代替型の工業化を国家戦略の軸とした。
2. 日本などの外国企業からの直接投資を積極的に受け入れることで、国内に多くの工場が建設され工業化が進んだ。
3. 輸出を制限することで国内での消費を優先させ、伝統的な手工業の保護を最優先する経済政策をとった。
4. 自国内の資源を有効活用するために、特定の農産物のみを生産するモノカルチャー経済への依存を強めた。
- 問3 中華人民共和国において、1990年代から2020年にかけて国内総生産が飛躍的に増大し、国民一人当たりの経済水準も大幅に向上した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 鎖国体制を維持し、国内の豊富な石炭資源のみを活用した自給自足の経済を推進した。
2. 沿海部に経済特区を設置して外国の資本や技術を導入し、工業化と輸出を拡大させた。
3. 経済成長よりも環境保護を最優先する政策を取り、製造業を縮小させてサービス業を育成した。
4. 全ての農地を完全に国有化して大規模な集団農場へと再編し、農業生産のみに特化した。
- 問4 日本の製造業企業がアジア諸国へ進出する主な経済的理由と、その進出が現地にもたらした変化の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
1. 理由：現地で関税が免除され製品価格が高騰するため / 変化：現地の平均賃金が先進国の水準を超えた
2. 理由：労働者の平均賃金が安く生産コストを低減できるため / 変化：外国企業の進出により急速な工業化が進んだ
3. 理由：現地に日系移民が多く労働力を容易に確保できるため / 変化：現地通貨の価値が上がり貿易赤字が増大した
4. 理由：アジア全域で国境通過が完全に自由化されたため / 変化：第一次産業を中心とする社会構造へ変化した
- 問5 現代世界の諸課題のうち、西アジアの紛争と難民問題に対する日本の関わりについて述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 日本は難民条約には加入しているが、国内の安全保障上の理由から、アフガニスタンやシリアなど西アジア出身の難民を認定した事例は過去に存在しない。
2. 日本はPKO協力を法を制定して国際平和に協力しており、近年ではアフガニスタン出身者などの難民認定数が増加している。
3. 西アジアでは1979年のソ連侵攻以降、武力紛争は発生しておらず、日本が受け入れる難民の数も2021年から2023年にかけて減少している。
4. シリア内戦を背景とした難民問題に対し、日本は自衛隊を多国籍軍として派遣して直接的な戦闘に参加することで、難民の発生を抑止している。
- 問6 西アジアに位置し、ペルシャ湾の北側に広大な国土を持つ国について述べたものとして最も適切な名称はどれですか。なお、この国は全人口に占めるイスラム教徒の割合が極めて高いという特徴があります。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. インドネシア 2. イラン 3. ナイジェリア 4. エジプト
- 問7 西アジアに位置し、イスラム教の聖地であるメッカを国内に抱えるサウジアラビアなどの地域において、人々の生活に深く根付いている習慣として正しいものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. ラマダンと呼ばれる期間には、日の出から日没まで飲食を断つ儀式が行われる。
2. 殺生を禁じる教えに基づき、全ての動物の肉を食べる習慣がない。
3. 食事の際には左手を清浄な手と考え、主に左手を使って料理を口に運ぶ。
4. 一日に三回、自分たちが住んでいる地域の中心都市に向かって礼拝を行う。
- 問8 アジアにおける諸宗教の分布状況について述べた文章として、その背景や特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 仏教やイスラム教は、歴史的な伝播によって特定の国に限定されず、広範な地域にまたがって信仰されている。
2. 仏教は東アジアの特定の島国でのみ信仰を維持しており、アジア大陸部にはほとんど分布していない。
3. ヒンドゥー教はインドから東南アジア全域に広まり、イスラム教以上に広範な分布を見せている。
4. イスラム教は西アジアの砂漠地帯のみに分布が限定されており、東南アジア諸国には分布していない。
- 問9 南アジアの国々の統計を示した資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり330人を超え、主な輸出品目の1位が衣類、2位が茶となっている島国はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. スリランカ 2. インド 3. バングラデシュ 4. パキスタン
- 問10 サウジアラビアをはじめとする中東の主要な産油国は、国際社会において石油の価格や生産量に大きな影響力を持っています。これらの国々が加盟し、自国の利益を守るために原油の供給量を調整している組織と、その背景にある状況について正しく述べているものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 石油輸出機構（OPEC）を結成し、生産量の調整を通じて国際的な原油価格の安定や自国の収入確保を図っている。
2. オーストラリアと同様に、石炭や鉄鉱石の輸出額が原油の輸出額を上回るようになり、資源供給の多様化を進めている。
3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟し、周辺諸国との関税を撤廃することで、石油以外の工業製品の輸出を最優先している。
4. 「世界の工場」と呼ばれるほどの工業発展を遂げたため、現在は原油の輸出よりも国内でのエネルギー消費を優先している。
- 問11 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟するタイにおいて、輸出の中心が農産物から工業製品へと変化した背景と現状を説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 輸入代替工業化に失敗した結果、特定の農作物の栽培に依存するモノカルチャー経済へと逆戻りした。
2. 地下資源の枯渇により工業が衰退したため、現在は観光業と水産業が輸出の大部分を占めている。
3. 伝統的な農業を重視する政策に転換したことで、米や天然ゴムの輸出額が工業製品を上回るようになった。
4. 外国企業の誘致や投資を受け入れて工業化を推進したことで、機械類や自動車の輸出割合が増加した。